

2026 年3月期 中間決算報告

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:山岐 真作)は、今般、2026 年3月期 中間決算を取りまとめました。詳細につきましては、別添の貸借対照表および損益計算書をご参照ください。

1. 2025 年9月中間期(2025 年4月1日～9月30日)の業績

(1) 概況

当中間会計期間における我が国経済は、米国の通商政策による影響がみられるものの、緩やかに回復しました。

航空需要は回復基調が続いていますが、当社を取り巻く環境は、円安水準で推移する為替相場や物価高、他社との価格競争激化等により引き続き厳しい環境が続いています。

運航面においては、台風起因による欠航が減少したこと等により就航率は 99.2%(前年同期 98.2%)と改善しましたが、定時出発率は天候起因による遅れや空港・空域の混雑に伴う遅延等の増加により 83.5%(前年同期 89.3%)となりました。また、当社は8月1日に長崎線就航 20 周年を迎え、当日は日頃の感謝の気持ちを込めて長崎空港/羽田空港の両空港で感謝イベントを実施いたしました。

営業・サービス面においては、「ソラシドスペシャル」や「小児運賃セール」を継続実施し需要の喚起および獲得を図ったほか、「真夏のマイルプーリングキャンペーン！！」等によるマイルプレゼントキャンペーンで搭乗を促進するなど、多角的な施策展開により、旅客需要の確実な取り込みを実行しました。8月からは前年度に引き続き日向坂 46 とコラボレーションし、メンバーを起用した各種プロモーションも展開しています。その他、リージョナルプラスグループにおける協業の一環として、株式会社 AIRDO が展開する「道産空輸 AIRDO ダイレクト便」と当社の「ソラチヨク便」の連携により、北海道から宮崎へ初めてのリレー空輸を行い、北と南をつなぐ産品交流に取り組みました。

これらの結果、旅客数・営業収入ともに中間会計期間において過去最高を更新しました。

費用面では、政府補助の縮小や賃金・物価上昇等の影響による費用の増加はありましたが、原油価格が低位安定して推移したことにより、全体の費用増加幅は抑えられました。

(2) 業績状況

当中間会計期間における業績は、営業収入が26,935百万円（前年同期比 5.9%増）となりました。事業費は24,390百万円（同 4.8%増）、販売費及び一般管理費は2,336百万円（同 0.9%減）となり、この結果、営業利益は209百万円となりました。営業外収益125百万円及び営業外費用328百万円を加味した経常利益6百万円は前年同期に比べ188百万円増加しました。税引前中間純利益は6百万円、中間純利益は6百万円（前年同期比 70百万円増）となりました。

【業績状況】	2025年9月中間期	2024年9月中間期	増減	増減率
営業収入(百万円)	26,935	25,419	+1,516	+5.9%
営業費用(百万円)	26,726	25,614	+1,112	+4.3%
営業利益(百万円)	209	△195	+404	—
営業利益率(%)	0.7	△0.7	+1.4pt	—
経常利益(百万円)	6	△182	+188	—
中間純利益(百万円)	6	△64	+70	—

(3) 財政状態

当中間会計期間末における総資産の残高は56,518百万円（前事業年度末 51,606百万円）となり、前事業年度末に比べ4,911百万円増加しました。流動資産は、1,627百万円増加し19,402百万円（同 17,774百万円）となりました。固定資産は、37,116百万円（同 33,832百万円）となり3,283百万円増加しました。

負債の残高は52,577百万円（前事業年度末 47,201百万円）となり、前事業年度末に比べ5,375百万円増加しました。流動負債は2,762百万円増加し15,638百万円（同 12,876百万円）となりました。固定負債は2,613百万円増加し36,938百万円（同 34,324百万円）となりました。

純資産の残高は前事業年度末に比べ464百万円減少し3,941百万円（前事業年度末 4,405百万円）となりました。

【財政状態】	2025年9月中間期	2025年3月期末	増減	増減率
総資産(百万円)	56,518	51,606	+4,911	+9.5%
純資産(百万円)	3,941	4,405	△464	△10.5%
自己資本比率(%)	6.9	8.5	△1.6pt	

(4) 運航実績・輸送実績

運航便数については、前年同期と比較し台風の影響等による欠航が少なかったため、就航率は99.2%（前年同期 98.2%）でした。定時出発率は、天候起因による遅れや羽田空港の空港混雑の影響等を受け、83.5%（前年同期 89.3%）となりました。

【運航実績】	2025年9月中間期	2024年9月中間期	増減
運航便数(便)	14,581	14,428	+153
欠航便数(便)	117	264	△147
就航率(%)	99.2	98.2	+1.0pt
定時出発率(%)	83.5	89.3	△5.9pt



提供座席数は1,654,673席(前年同期比7.7%増)となり、有償旅客数は1,201,531人(同8.3%増)、有償座席利用率は74.1%(前年同期0.8pt増)となりました。

【輸送実績】 *コードシェア販売分を除く	2025年9月中間期	2024年9月中間期	増減(率)
提供座席数 (席)	1,654,673	1,535,819	+118,854 (+7.7%)
有償旅客数 (人)	1,201,531	1,109,334	+92,197 (+8.3%)
提供座席キロ (千席・キロ)	1,792,438	1,701,264	+91,173
有償旅客キロ (千人・キロ)	1,328,123	1,247,557	+80,566
有償座席利用率 (%)	74.1	73.3	+0.8pt

2. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

当社を取り巻く環境は、他社との厳しい価格競争が継続する可能性に加えて、今後も為替の変動や国際情勢による原油価格への影響等が懸念される中、当社としては収支改善に向けた取組みに引き続き取り組んで参ります。

このような状況下、上期の実績も踏まえ、通期の業績目標を以下のように修正しました。

【2026年3月期業績見通し】	予想(修正値)	2025年5月公表値	増減
営業収入 (百万円)	55,000	56,600	△1,600
営業利益 (百万円)	900	900	±0
営業利益率 (%)	1.6	1.7	△0.1
経常利益 (百万円)	400	400	±0

以上

※ 2022年10月3日に(株)AIRDOと設立した共同持株会社(株)リージョナルプラスウイングスの2026年3月期中間連結決算については、下記のプレスリリースをご参照ください。

(株)リージョナルプラスウイングス: <https://www.regionalplus.co.jp/newsrelease/>



<参考資料>

(数値は全て%)

路線別輸送実績 *コードシェア販売分を除く		有償座席利用率 (前中間会計期間値)	提供座席数 前中間会計期間比	有償旅客数 前中間会計期間比
東京 (羽田)	一宮崎	68.8 (64.0)	+2.4	+9.9
	一熊本	72.6 (70.5)	+2.0	+5.0
	一長崎	69.6 (69.7)	+2.1	+2.0
	一鹿児島	81.5 (87.7)	+2.9	△4.4
	一大分	65.0 (59.8)	+1.7	+10.4
	一沖縄(那覇)	83.7 (85.4)	+3.4	+1.3
小計		74.1 (73.4)	+2.4	+3.9
沖縄 (那覇)	一宮崎	72.9 (73.3)	+14.9	+14.3
	一鹿児島	75.9 (75.9)	+13.8	+13.8
	一神戸	81.0 (78.1)	+12.4	+16.6
	一名古屋(中部)	82.9 (76.9)	+1.8	+9.9
	一石垣	51.1 (82.9)	+234.2	+105.9
	一福岡	68.9 (58.7)	+0.9	+18.4
小計		73.2 (72.8)	+33.0	+26.5
名古屋 (中部)	一鹿児島	87.3 (83.7)	+19.6	+24.6
	一宮崎	68.5 (63.3)	+19.6	+29.4
小計		78.6 (74.3)	+19.6	+26.7
全路線合計		74.1 (73.3)	+7.7	+8.3



貸借対照表

(2025年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	19,402	流動負債	15,638
現金及び預金	13,611	営業未払金	5,306
営業未収入金	2,110	短期借入金	4,323
商品	16	リース債	914
貯蔵品	20	未払費用	252
前払費用	1,422	未払法人税等	6
デリバティブ債権	588	契約負債	99
その他	1,633	預り金	114
固定資産	37,116	前受収益	2,114
有形固定資産	20,895	賞与引当金	299
建物	344	デリバティブ債権	634
構築物	2	その他	1,573
航空機	2,725	固定負債	36,938
車両運搬具	6	長期借入金	24,854
工具、器具及び備品	12,741	リース債	4,510
リース資産	4,939	長期前受収益	1,161
建設仮勘定	135	退職給付引当金	574
無形固定資産	669	航空機材整備引当金	5,689
商標	1	資産除去債務	147
ソフトウェア	399	負債合計	52,577
その他	268	(純資産の部)	
投資その他の資産	15,551	株主資本	3,994
投資有価証券	48	資本金	100
長期前払費用	31	資本剰余金	4,885
繰延税金資産	4,232	その他資本剰余金	4,885
差入保証金	6,744	利益剰余金	△991
航空機整備保証金	3,379	利益準備金	152
関係会社長期貸付金	1,100	その他利益剰余金	△1,144
その他	15	繰越利益剰余金	△1,144
		評価・換算差額等	△53
		その他有価証券評価差額金	△25
		繰延ヘッジ損益	△28
資産合計	56,518	純資産合計	3,941
		負債及び純資産合計	56,518

(注)記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(自 2025 年4月1日 至 2025 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

科 目	金 額	
営 業 収 入		26,935
事 業 費		24,390
営 業 総 利 益		2,545
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,336
営 業 利 益		209
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	26	
為 替 差 益	70	
そ の 他	28	125
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	308	
そ の 他	20	328
経 常 利 益		6
税 引 前 中 間 純 利 益		6
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	6	
法 人 税 等 調 整 額	△6	0
中 間 純 利 益		6

(注)記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。